第20講
民族・宗教

「民族・宗教」のジャンルを苦手とする受験生は多いと思う。系統的に全体を学習するよりも，共通テストの出題傾向に合わせて，要点事項だけ絞って学習することが大切である。また，少数民族の問題や，民族・宗教の違いに起因する対立なども頻出の出題ポイントとなるが，これもある程度パターン化されているので，出題例を通じ，重要事項を整理していこう。

２０．１　人種・民族の概要

世界には大きく３大人種が存在し，これに含まれない人種系統も多い。

・コーカソイド(白色人種)・・・大きくインド・ヨーロッパ系と，アフロ・アジア(セム・ハム)系に分かれる。前者にはアーリア人(インド)やペルシャ人(イラン)，スラブ・ラテン・ゲルマンなどのヨーロッパ諸民族が含まれる。後者にはアラブ人やユダヤ人など。

・モンゴロイド(黄色人種)・・・ウラル・アルタイ系やシナ・チベット系など。前者は，フィン人(フィンランド)，マジャール人(ハンガリー)，トルコ人，中央アジアの民族，朝鮮半島の民族，日本人などが含まれる。後者には漢民族(中国)や東南アジアの諸民族など。またアメリカ大陸の先住民もモンゴロイドである。

・ネグロイド(黒色人種)・・・サハラ砂漠以南の中南アフリカ。ただし奴隷としてアメリカ大陸に送られたものも多い。

上記の３大人種に含まれない人々として，バスク人やアボリジニーなどがいる。

＜チェック！＞

地理では民族と言語を同義に扱うことも多い。つまり民族とは共通した言語を使用する人々のグループであるという定義である。

これを踏まえた上で，人種，語族，民族(つまり言語)の関係を整理すると以下のようになる。

<table>
<tr><th>人種</th><th>語族</th><th>民族</th></tr>
<tr><td rowspan="2">コーカソイド</td><td>インド・ヨーロッパ</td><td>アーリア(インド)
ペルシャ(イラン)
スラブ・ラテン・ゲルマン(ヨーロッパ)</td></tr>
<tr><td>セム・ハム</td><td>アラブ(西アジア〜北アフリカ)
ユダヤ(イスラエル)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">モンゴロイド</td><td>ウラル・アルタイ</td><td>マジャール(ハンガリー)
フィンランド・トルコ・モンゴル・
朝鮮半島・日本</td></tr>
<tr><td>シナ・チベット</td><td>漢(中国)
チベット</td></tr>
<tr><td>アメリカ
インディアン</td><td>イヌイット[エスキモー](北極海沿岸)
アメリカインディアン(北アメリカ)
インディオ(中南アメリカ)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ネグロイド</td><td colspan="2">スーダンニグロ</td></tr>
<tr><td colspan="2">バンツーニグロ</td></tr>
<tr><td colspan="3">マレー・ポリネシア(東南アジア・太平洋)</td></tr>
<tr><td colspan="3">アボリジニー(オーストラリア)</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドラヴィダ(インド南部・タミル人)</td></tr>
<tr><td colspan="3">バスク人(フランス・スペイン国境)</td></tr>
</table>

多少の誇張・省略はあるが，このように理解しておけば十分。

２０．２　宗教の概要

特定の民族に信仰される民族宗教に，ユダヤ教(イスラエル)とヒンドゥー教(インド)がある。民族や地域を越え，世界の広い範囲に信者が存在する世界宗教にキリスト教，イスラム教(イスラーム)，仏教がある。

また，ユダヤ教とキリスト教，イスラム教は乾燥地域で発生したのに対し，ヒンドゥー教と仏教は湿潤地域で生まれた。

２０．３　キリスト教の宗派

キリスト教には大きく３つの宗派が存在する。

・東方正教(正教)・・・東部ヨーロッパに信者が多く，ロシアなどスラブ民族の分布地域に広がっている。ただし，スラブ民族であってもポーランドはカトリックの国であるので注意。

・カトリック・・・ローマのバチカンを中心とする世界宗教。ラテン民族に信者が多く，ラテン国家によって植民地とされたフィリピンやラテンアメリカにおいても主要宗教となっている。ラテン以外でも，スラブ系のポーランドやケル

ト系が多いアイルランドは熱心なカトリック国。

・プロテスタント・・・北西ヨーロッパに信者が多く，北欧やドイツ，イギリスなど。イギリスからの移住者の多い北アメリカにも広まっている。

＜チェック！＞

古代キリスト教の一種であるコプト派を信仰する国としてエチオピアがある。

２０．４　アラブ民族の分布

アラブ民族は白色人種のアフロ・アジア系（セム・ハム系）に属する民族集団であるが，その分布は西アジアのイラクから北アフリカのモロッコに至る広い範囲にまたがる。ただし，ほぼ全域が乾燥気候であり，エジプトを除けば人口規模の大きな国はない。

［知っておこう］

一般的にはアラブ世界の宗教と思われているイスラム教であるが，その分布域は意外に広い。インドネシアやマレーシアなどの東南アジア島嶼部，バングラデシュやイランなど南・西アジア，カザフスタンなど中央アジア，セネガルなどサヘル諸国，ボスニア・ヘルツェゴビナなどヨーロッパ南西部がその例。とくにインドネシアのような多雨な自然環境を有する地域にも広がっていることに注意。農業生産が盛んな地域なので，豚の飼育も十分に可能なわけだが，イスラム教の教義が優先し，やはり豚の飼育頭数は少ない。飲酒もされない。

（参考）アラブ諸国には産油国が多く，ＯＰＥＣ（石油輸出国機構）の中でも重要な地位を占めている。ＯＰＥＣ加盟国は変動が大きいため，正確な理解は不要であり，問題を解く際にもおおまかなイメージさえ持っておけばいい。参考までに2020年のＯＰＥＣ加盟国を紹介しておこう（●はアラブ民族が多数を占める国）。

（西アジア）イラン・●サウジアラビア・●イラク・●クウェート・●アラブ首長国連邦

（アフリカ）●リビア・●アルジェリア・コンゴ共和国・ナイジェリア・赤道ギニア・アンゴラ・ガボン

（南アメリカ）ベネズエラ

２０．５　ヨーロッパの民族分布

ヨーロッパの３大民族は,「スラブ」「ラテン」「ゲルマン」の３種類。いずれもインド・ヨーロッパ系の民族系統。

・スラブ系民族・・・ロシア・ポーランド・旧ユーゴスラビアなど，ヨーロッパ東半部。

・ラテン系民族・・・イタリア・フランス・スペイン・ポルトガルなど，ヨーロッパ南西部。ただし東欧のルーマニアもラテン系民族。

・ゲルマン系民族・・・イギリス主要部・ドイツ・北欧など，ヨーロッパ北西部。

<チェック！>

これ以外にもヨーロッパには多くの民族の分布がみられる。

・アジア系(ウラル系)人種・・・フィンランド，ハンガリーなど。スカンジナビア半島北部で遊牧生活を営むラップ人(サーミ)もアジア系。

・ケルト系民族・・・アイルランドを中心に，イギリスやフランスの一部。

・バスク人・・・フランス・スペイン国境(ピレネー山脈西部)。

いずれも外見上とくに変わった特徴があるというわけではないが，言語が周辺諸国とは明らかに違うのである。あくまで,「民族＝言語」であることを意識する。

２０．６　ヨーロッパの宗教分布とその例外

・スラブ民族の多くは東方正教を信仰しているが，ポーランドなどカトリックが熱心に信仰されている国もある。

・ラテン系民族は，ルーマニアを除いて，カトリックを信仰。とくにイタリアのローマにはバチカン市国があり，カトリックの総本山となっている。

・ゲルマン系民族にはプロテスタントが多い。ただしドイツ南部はカトリックが主。

・旧ユーゴスラビアのボスニア・ヘルツェゴビナ中央部やコソボにはイスラム教徒が多い。

２０．７　ヨーロッパの多民族国家

・ベルギー・・・北部にはゲルマン系のフラマン人(オランダ語を使用)，南部にはラテン系のワロン人(フランス語を使用)。首都ブリュッセルは両言語使用地域。

・スイス・・・ゲルマン系民族が多くドイツ語が使用されているが，これ以外に

ラテン系民族も分布し，フランス語・イタリア語・レートロマン語が公用語とされている。

[知っておこう]

ヨーロッパの民族・宗教は複雑と思われているがそんなことはない。ポイントになる国だけをいくつか押さえておけば十分。

以下の表を参考にしよう。◎はこれに含まれる国が多いということ，×はほとんどないということ。特別に意識して覚える必要はないだろう。

	プロテスタント	カトリック	東方正教
ゲルマン	◎	ドイツ南部	×
ラテン	×	◎	ルーマニア
スラブ	×	ポーランド	多

ヨーロッパにおいては民族と宗教に強い関係性があり，単純に「北東部＝ゲルマン・プロテスタント」，「南部＝ラテン・カトリック」，「東部＝スラブ・東方正教」と覚えてしまえばいい。例外は３カ所あるが，ルーマニアの出題率は低いので重要ではない。ポイントになるのはドイツとポーランドのみ。ドイツはゲルマン民族の国だが，プロテスタントが多数を占める北部に対し，南部にはカトリック教徒が多い。スラブ系のポーランドは，世界で最も熱心なカトリック国の一つである。

２０．８　モンゴロイドの移動

北アメリカ大陸の先住民であるイヌイット，アメリカインディアン，インディオはいずれも黄色人種(モンゴロイド)。氷河期に陸化していたベーリング海峡を渡り，ユーラシア大陸からアメリカ大陸へと達した人々の末裔。

＜チェック！＞

大陸周辺の，水深200mまでの浅海を大陸棚という。氷河期(最終氷期)は陸化しており，例えば日本列島と朝鮮半島は陸続きであった(東シナ海は大陸棚)。タイ周辺の海域，イギリスと大陸の間(北海)，ラプラタ川河口付近の大陸棚は出題例があり，その位置を確認しておこう。

２０．９　アメリカ合衆国内における民族分布

ＷＡＳＰとよばれるイギリス系住民を中心に政治が行われてきたアメリカ合衆国であるが，民族構成は複雑であり，その分布にも特徴がある。

・アメリカインディアン（ネイティブアメリカン）・・・先住民。白人の入植以前は国土の広い範囲に住んでいたが，白人による侵略の過程でもともと住んでいた豊かな土地を奪われた。現在は西部の乾燥地域に設けられた保留地に住む者も多い。

・黒人（アフリカ系）・・・国土南東部の「南部」での割合が高い。かつて綿花プランテーションが開かれ，黒人奴隷がアフリカから連れて来られた。

・ヒスパニック・・・スペイン語を使用する人々の意。メキシコ国境に沿う州での割合が特に高く，カリフォルニア州ではその数は州の総人口の40％に当たる1500万人に達したという統計もある。カリブ海諸国からの移民が多いフロリダ州でも割合が高い。

・アジア系・・・中国からの移民が増加している。都市内部にチャイナタウンを形成し，商業や飲食業に就く者が多いが，最近は社会的な成功を収め富裕となる者も目立つ。

２０．１０　差別政策

代表的な人種・民族差別政策に南アフリカ共和国のアパルトヘイトとオーストラリアの白豪主義政策がある。広義にはアメリカ合衆国におけるアメリカインディアンの迫害も含まれるだろう。

・アパルトヘイト・・・南アフリカ共和国における人種隔離政策。少数派のヨーロッパ系白人が，多数派の黒人，さらには移民であるインド系住民などの有色人種の権利を制限した。90年代にこれに関する法律は撤廃されている。黒人に参政権が与えられ，黒人の大統領もすでに誕生している。しかし，白人と黒人との間での経済格差はいまだ大きい。

・白豪主義政策・・・オーストラリアで1970年代まで行われていた政策。先住民アボリジニーが迫害され，有色人種の移民が制限された。現在は多文化主義へと転換。当初は急増した中国系移民を制限することを目的として始められたが，1970年代にベトナムからの難民を迎え入れるに当たり，廃止された。近年のオーストラリアは環太平洋地域とくに東アジアや東南アジアとの経済的つながりが深くなり，人的交流も増えてきている。

<チェック！>

アメリカ合衆国，オーストラリア，南アフリカ共和国の共通点は，イギリスに植民地支配されていたことと，金の産出国であること。

19世紀半ばに興ったアメリカ合衆国のゴールドラッシュだが，東海岸から白人が太平洋岸へと殺到し，この過程で先住民であるアメリカインディアンは生活の場を奪われた。ただし白人が金を独占できたわけではなく，多くの華僑もこの時期に西海岸の都市へと流入した。

これに続くオーストラリアのゴールドラッシュでは，やはり白人が先住民アボリジニーを迫害したが，さらに華僑の移民も制限するなど，より独占の色合いを強めた。

南アフリカ共和国においても，鉱山からの利益を独占しようとするヨーロッパ系住民によって，黒人やインド系住民が差別・迫害された(アパルトヘイト)。

資源の存在は必ずしもその地に住む人々を幸せにしない。

20.11　さまざまな民族・宗教問題

民族や宗教の違いに起因する対立は多い。実際の出題例を通じて，それらを整理していこう。

練習問題[11]

①；北アイルランド地方(イギリス)について。アングロサクソン(ゲルマン)系プロテスタントと，アイルランド(ケルト)系カトリックとの対立。

②；シンガポールについて。マレーシアから分離独立。ブミプトラ政策のマレーシアでは公用語はマレー語だけであるが，シンガポールはマレー語，中国語，タミル語の他，全国民共通の言語として英語も公用語化。

③；かつてパキスタンとバングラデシュは，同じイスラム地域として連邦国家を形成していた。

④；ピレネー山脈西部のバスク地方には独自の言語を使用するバスク人が分布。

練習問題[12]

①；トルコやイラン，イラクの山岳地域にクルド人が居住。周辺国から迫害。

②；アフリカ中部ルワンダでは90年代に内戦。隣国コンゴ民主へと難民が流出。

③；旧セルビア・モンテネグロは，セルビア，モンテネグロ，コソボなどから構成されていたが，それぞれ分離独立した。

④；スリランカ北部にはインドから渡ってきたタミル人が分布。

<チェック！>

南アジアの宗教構成は重要。

・バングラデシュ・・・イスラム教徒が多数。

・インド・・・ヒンドゥー教徒が多く，一部にイスラム教徒。

・パキスタン・・・イスラム教国だが，北部のカシミール地方はイスラム教徒とヒンドゥー教徒が混在し，両国で帰属が争われる。

・スリランカ・・・仏教徒シンハラ（シンハリ）人が多数を占めるが，北部にヒンドゥー教徒タミル人が分布し，対立。

練習問題［13］

カ；ユダヤがキーワード。第二次世界大戦直後に新国家イスラエルが建国され，本来そこに居住していたパレスチナ人は難民となった。

キ；連邦国家であるユーゴスラビアが崩壊し，多くの国に分裂した。

ク；「アフリカの角」ソマリアは無政府状態になるなど，国内が混乱している。国連のPKOも派遣された。民族や宗教の違いによる内戦でない点が特徴。

練習問題［14］

キプロスはギリシャ系住民が多数を占める国であるが，北部にはトルコ系住民が居住し，対立している。

<チェック！>

チェチェン共和国について。ロシア連邦を構成する共和国の一つ（独立国ではないので注意）。イスラム教徒が多く，独立運動がさかん。カフカス地方は民族・宗教構成が複雑であり，他にもグルジア（ジョージア）など不安定な国は多い。

ワンポイント

出題率は高くないが，旧ユーゴスラビアについて取り上げておこう。

かつてユーゴスラビアだった範囲は，現在は表に示した７つの国に分かれている。コソボを除きいずれもスラブ系の国である。宗教は東側のセルビアなどで東方正教，西側のクロアチアなどでカトリックが信仰されているが，ボスニア・ヘルツェゴビナ中央部やコソボなどのようにイスラム教徒が多数を占める地域も存

存在している。イスラム教徒に対する弾圧が内戦や紛争の火種ともなった。

<table>
<tr><td>現在の国名</td><td>スロベニア</td><td>クロアチア</td><td colspan="2">ボスニア・
ヘルツェゴビナ</td><td>セルビア</td><td>モンテネグロ</td><td>北マケドニア</td><td>コソボ</td></tr>
<tr><td>民族</td><td colspan="7">スラブ系</td><td>アルバニア系</td></tr>
<tr><td>宗教</td><td colspan="3">カトリック</td><td>＊</td><td colspan="3">東方正教</td><td>＊</td></tr>
</table>

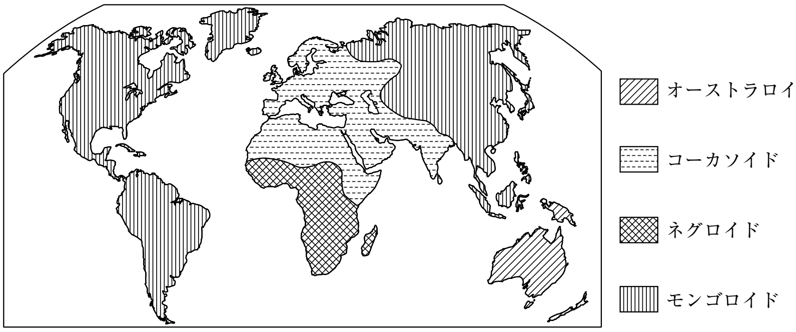
＊はイスラム教

　ボスニア・ヘルツェゴビナでは，クロアチア系住民がカトリック，セルビア系住民が東方正教，モスレム（ボシュニャク）人がイスラム教。

第20講
民族・宗教［練習問題］

［１］(１)　次の図２は，大航海時代が始まる以前の，地球上の人種の分布を大まかに示したものである。この図のなかで，自然的要因が大きな障害となり，人種の分布の境界となっている例として適当でないものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問３）



Coon（1965）を一部改変。

図２

① 地中海を挟んだヨーロッパとアフリカ
② ヒマラヤ山脈を挟んだ中国とインド
③ 北大西洋を挟んだ北アメリカとヨーロッパ
④ サハラ砂漠を挟んだ北部アフリカと中部アフリカ

(２)　図２と今日の地球上の人種の分布を比べたとき，その間の分布の変化について述べた次の文①～④のうちから，最も適当なものを一つ選べ。

（同・問４）

① コーカソイドの分布域が，主にヨーロッパ地域で縮小した。
② モンゴロイドの分布域が，主にアフリカ地域で拡大した。
③ オーストラロイドの分布域が，主にオセアニア地域で拡大した。
④ ネグロイドの分布域が，主に南北アメリカ地域で拡大した。

［２］　世界にはおびただしい数の言語が存在するが，それらは，系統の異なるいくつかの言語群に分類することができる。また，言語は思考やコミュニケーションの基礎となるため，民族を識別する際の重要な指標の一つとなる。ある言語を共有する社会集団が特定の宗教・宗派と結びつく例もしばしばみられるが，三大宗教のように，民族や国家の枠を越えて広い範囲で受容された宗教もある。

（1997年度地理Ａ本試験第２問問３）

下線部の例として適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① チベット語とヒンドゥー教　　② ヘブライ語とユダヤ教
③ ポルトガルとギリシア正教　　④ マレー語と仏教

［３］　多様な自然環境と密接に結びついた，さまざまな宗教が生み出された。それらの宗教の中には，民族の範囲を越えて世界宗教となり，他地域との交流の過程で，発祥地とは異なる環境を持つ地域に伝えられ，そこに定着する場合もあった。

下線部に関して，宗教が発祥地とは異なる環境を持つ地域に伝えられ，そこに定着した例として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問７）

① インドネシアのイスラム教　　② フィリピンのキリスト教
③ ブラジルのキリスト教　　④ リビアのイスラム教

［4］　次の写真２は，それぞれある宗教にみられる建築様式を示している。これらの宗教のおもな伝播範囲について述べた次の文①～⑤のうちから，写真２中の**ア**・**イ**に該当するものをそれぞれ一つずつ選べ。

（1997年度地理Ａ本試験第２問問４）

ア　著作権の都合により非公開

イ　著作権の都合により非公開

写真２

①　東アジア・東南アジアのモンスーン地域のほか，アジア内陸の高地やステップ地域にも及んでいる。

②　中央アジアを除く旧ソ連地域と東ヨーロッパの一部が中心となる。

③　西アジア・中央アジア・北アフリカの乾燥気候地域が中心だが，東南アジアの一部の国にも広がっている。

④　北ヨーロッパと北アメリカのアングロサクソン系住民の分布範囲とよく対応する。

⑤　南アメリカ大陸を含むラテン系言語の使用地域のほとんどが含まれる。

［5］　次のX～Zの文章は，アフリカからの三人のノーベル賞受賞者とその出身国の状況について説明したものであり，図1中のカ～クは，受賞者のいずれかの出身国である。X～Zとカ～クとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2007年度地理Ｂ本試験第４問問６）

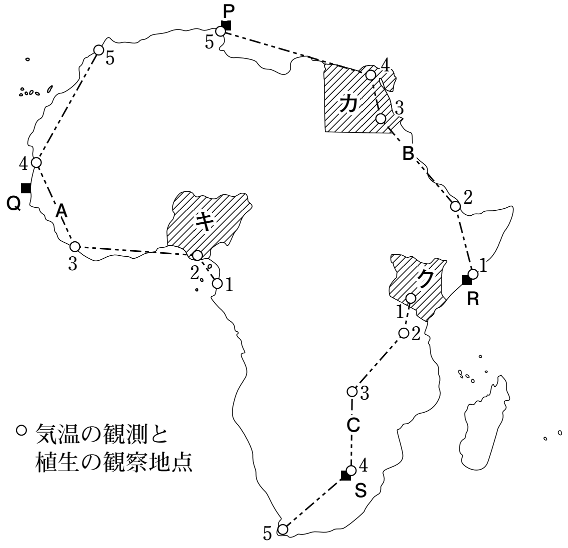


図1

X　ウォレ・ショインカの出身国は，多民族からなり，政治や石油利権をめぐって対立が続いている。彼は1967年に始まった内戦で，地方の民族主義を弾圧した軍事政権を厳しく批判し，投獄されたこともあった。

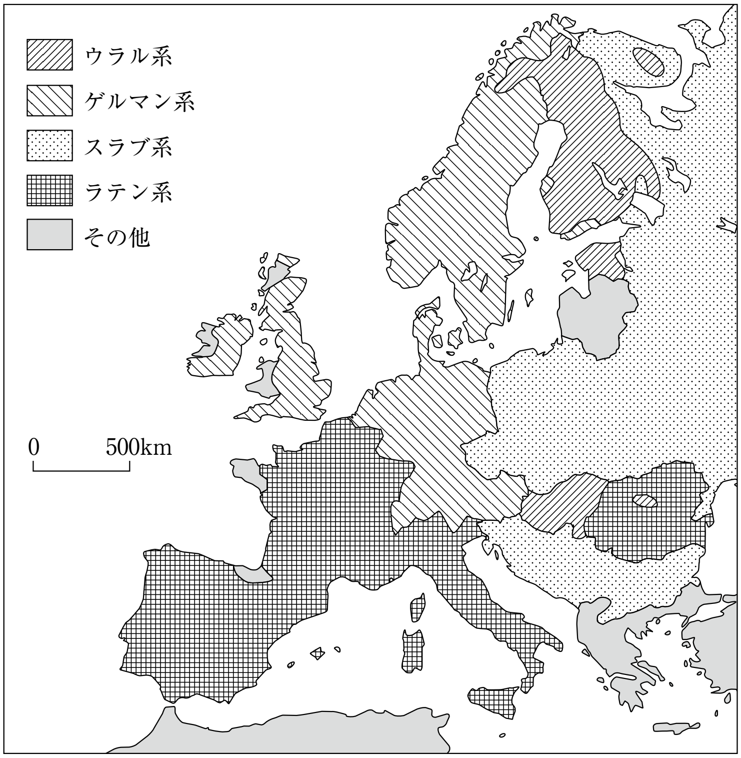
Y　ナギーブ・マフフーズの出身国は，アラブ世界の政治や文化における中心的国家である。彼の小説はイスラム教の教義に反するとして，発禁処分にされたこともあったが，アラブ世界で多くの読者をもち，映画化された。

Z　ワンガリ・マータイの出身国は，多様な野生動物が多く生息する。彼女は，砂漠化や薪の採取による森林の破壊が深刻であったため，植林によって農村女性の社会参加を実現する運動をアフリカ各地に広めた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Y	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Z	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［６］　次の図３は，ユーラシア大陸西部における言語分布を，ウラル系，ゲルマン系，スラブ系，ラテン系，その他の五つに大別して示したものである。この図を参考に，当地域の言語分布に関して述べた下の文①～④のうちから，誤っているものを一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問５）



「Diercke Weltatlas」により作成。

図３

① ヨーロッパの言語分布には，複雑な民族移動の結果が反映されている。

② ゲルマン系言語の分布とラテン系言語の分布の境界は，現在の国境と完全に一致する。

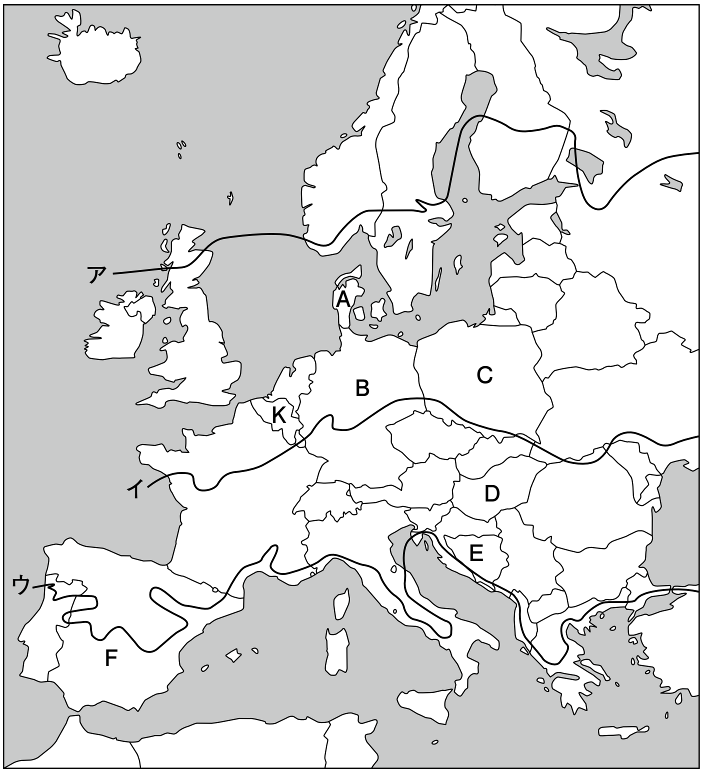
③ 東ヨーロッパに孤立する形で分布しているラテン系言語は，ルーマニア語である。

④ 図中に「その他」で示されている言語の分布には，ギリシャ語やトルコ語の分布地域が含まれている。

［7］　次の①～⑥の文は，図１中のＡ～Ｆのいずれかの国（＊）の言語と宗教の特徴について述べたものである。図１中のＢ国とＦ国の特徴を述べた文として最も適当なものを，次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び，記号で答えよ。

（＊）図１の範囲外にある各国の領土は含まない。

（2006年度地理Ａ本試験第４問問３）



Alexander Weltatlas などにより作成。

図１

① 主にウラル系の言語が話され，カトリックやプロテスタントが信仰されている。

② 主にゲルマン系の言語が話され，北部では主にプロテスタント，南部ではカトリックが信仰されている。

③ 主にゲルマン系の言語が話され，ほぼ全域でプロテスタントが信仰されている。

④ 主にスラブ系の言語が話され，ほぼ全域でカトリックが信仰されている。

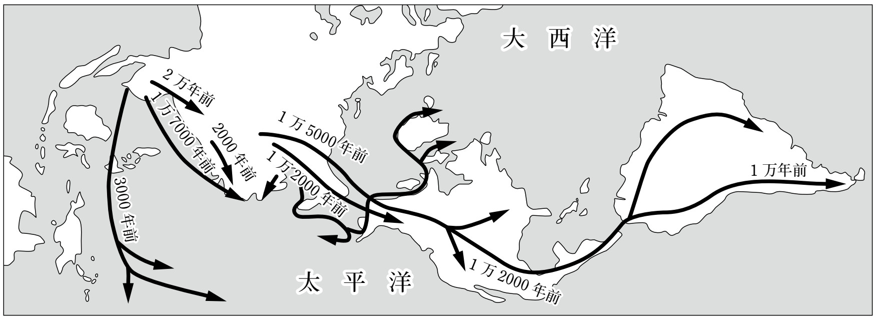
⑤ 主にスラブ系の言語が話され，イスラム教や東方正教が信仰されている。

⑥ 主にラテン系の言語が話され，ほぼ全域でカトリックが信仰されている。

［8］　今から約２万年前は氷河期にあり，海面が今より大きく低下していた。その氷河期の終わりころ（約１万年前）までには，人類は，一部の地域を除く地球のほぼ全域に広がっていたと考えられる。

下線部に関して，次の図１は，最近の研究によって次第に明らかになりつつある，有史以前のモンゴロイド（黄色人種）の移住経路の推定図である。この図について述べた下の文①～④のうちから，下線部が適当なものを一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第１問問２）



Turner（1983）により作成。

図１

①　モンゴロイドがユーラシア大陸から北アメリカ大陸へ渡ることができたのは，海面低下に伴って当時，陸地が広がっていたためと考えられる。

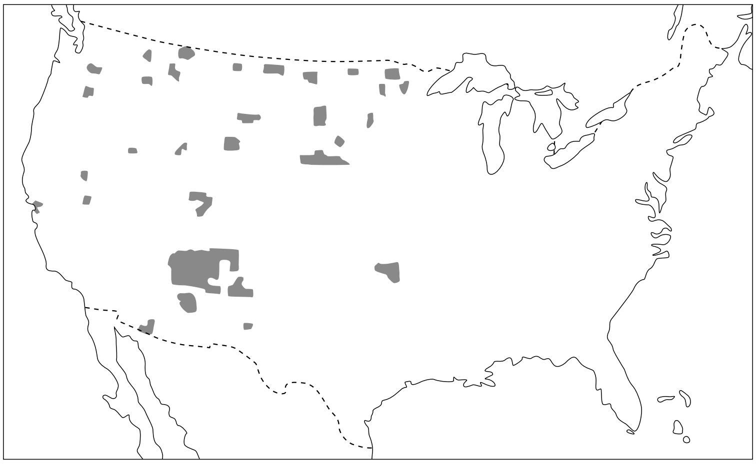
②　北アメリカ大陸に渡ったモンゴロイドのうち，南アメリカ大陸南端に到達した人々の子孫にイヌイット（エスキモー）がある。

③　3000年前に東南アジアから太平洋に乗り出していったモンゴロイドの子孫が，ポリネシアに広く分布するアボリジニーである。

④　１万7000年前に東南アジアから島づたいに舟で日本列島へやってきた人々が，日本に稲作を伝えたと考えられている。

［９］　次の図２中の黒地部分は，アメリカ合衆国の先住民であるインディアンの主な保留地の分布を示したものである。この保留地の分布について説明した下の文①～④のうちから，正しいものを一つ選べ。

（1997年度地理Ａ追試験第２問問５）



「Diercke Weltatlas」などにより作成。

図２

① インディアンを農業労働力として利用するため，新たに開拓された農業地帯の周辺に保留地が与えられた。

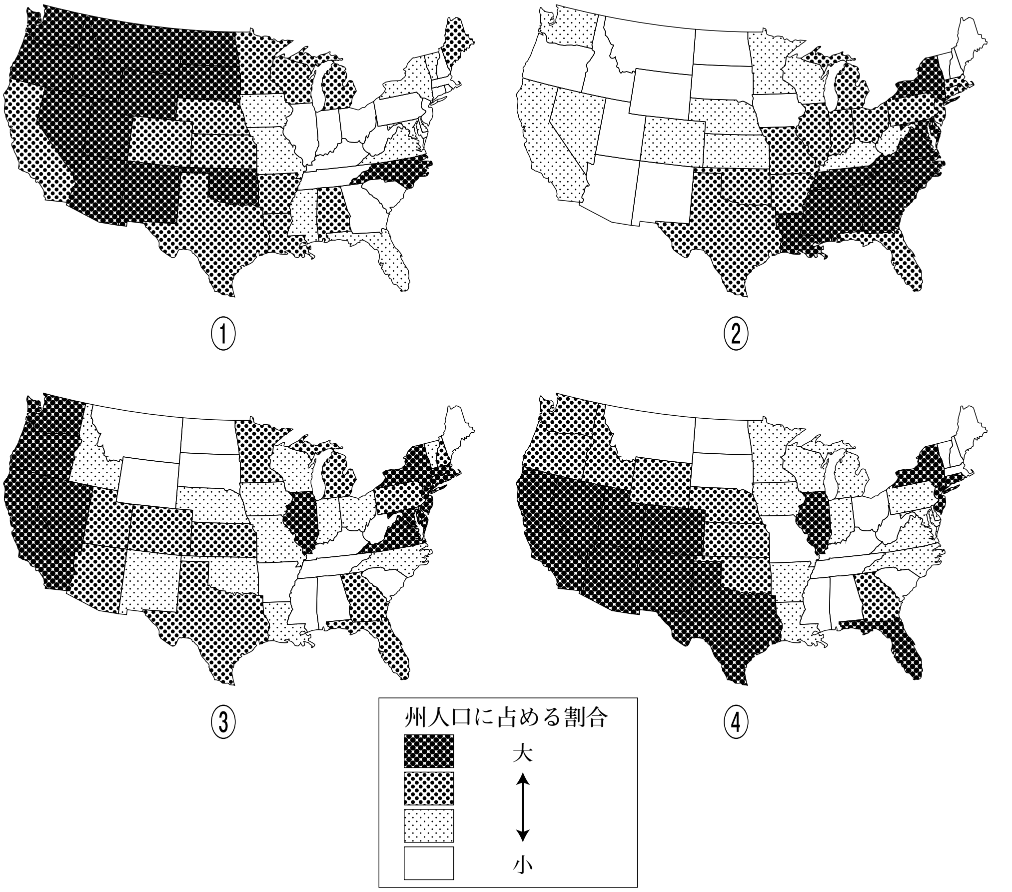
② インディアンの多くが都市的生活を希望したので，大都市の郊外に保留地が設定された。

③ インディアンの大部分がもともと生活の場としていた砂漠や荒地が，保留地として返還された。

④ 農牧業に適した土地，鉱産資源に富む土地などが，白人によって占められた結果，生活には不便な土地が，保留地としてインディアンに残された。

［10］　次の図２は，アメリカ合衆国（アラスカ州とハワイ州を除く）の各州の人口に占めるアメリカインディアン，黒人，中国系，ヒスパニックのいずれかの割合を相対的に示したものである。中国系の割合を示したものとして最も適当なものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。

（2003年度地理Ａ追試験第２問問５）



統計年表は2000年。アメリカ合衆国センサス局の資料により作成。

図２

［11］　世界各地で発生してきた国家の独立や自治権拡大を求める運動について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2001年度地理Ｂ本試験第４問問３）

①　北アイルランドでは，少数派のプロテスタントが，カトリックの多いイギリスからの分離とアイルランドへの帰属を求める動きがある。

②　華人の割合が高いシンガポールは，マレー系住民の割合が高いインドネシアから分離して独立した。

③　ヒンズー教徒が多数を占めるバングラデシュは，イスラム教徒が多いパキスタンから独立した。

④　フランスとスペインの国境地帯にまたがるバスク地方には，独立国家の建設や自治権拡大を求める動きがある。

［12］　世界各地で発生してきた民族紛争について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2006年度地理Ｂ追試験第６問問６）

①　トルコ東部とその隣国の山岳地域では，クルド人により，一部で自治権拡大や独立を求める運動が展開されてきた。

②　ルワンダでは，ツチ人とフツ人の対立から内戦が起こり，多数の死傷者が出た。

③　セルビア・モンテネグロ（旧称：ユーゴスラビア連邦共和国）では，コソボ自治州のアルバニア人により，一部で自治権拡大や独立を求める運動が展開されてきた。

④　スリランカでは，ヒンドゥー教徒の割合が高いタミル人が，一部で自治権拡大を求めて，イスラム教徒の割合が高いシンハラ（シンハリ）人と対立してきた。

［13］　下の**カ**～**ク**の文は，次の図４中に示した**K**～**M**のいずれかの範囲の中で発生した難民に関して述べたものである。**カ**～**ク**と**K**～**M**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2008年度地理Ｂ本試験第５問問６）

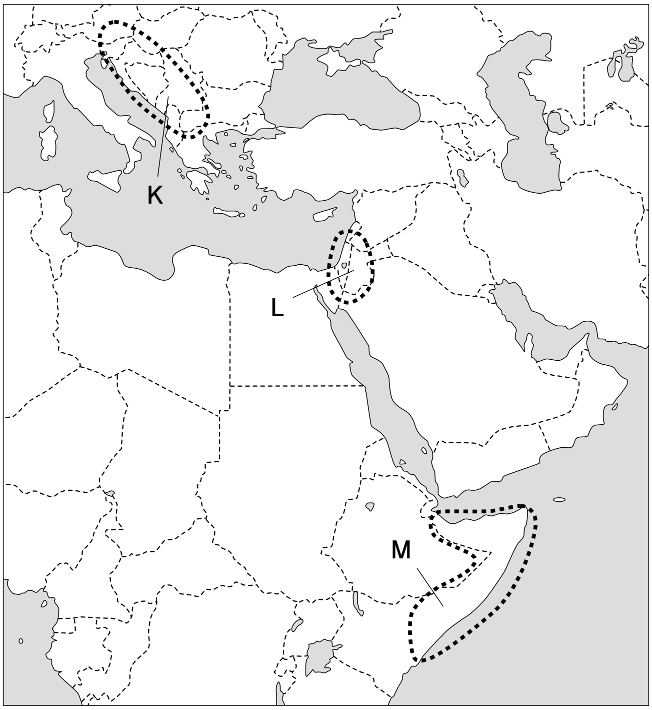


図４

カ　ユダヤ人国家の建国にともなって難民が発生した。

キ　国の体制が崩壊し，複数の民族・国家間紛争が生じて難民が発生した。

ク　干ばつなどの災害のほか，度重なる内戦の対立で難民が発生した。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	K	K	L	L	M	M
キ	L	M	K	M	K	L
ク	M	L	M	K	L	K

［14］　次の**カ〜ク**の文は，下の図**３**中の**P〜R**のいずれかの地域でみられる民族紛争について述べたものである。**カ〜ク**と**P〜R**との正しい組合せを，下の①〜⑥のうちから一つ選べ。

（2009年度地理Ｂ追試験第６問問４）

カ　カトリック系住民とプロテスタント系住民が対立してきた。

キ　キリスト教系住民とイスラム教系住民が対立してきた。

ク　独自の言語を使う民族が独立国家の建設をめざす運動を展開してきた。

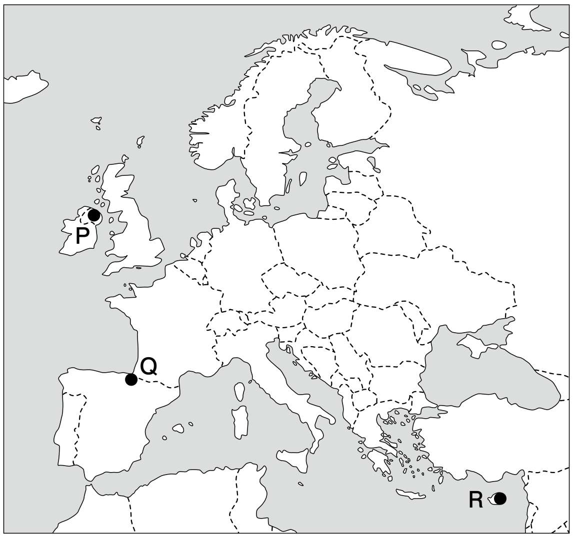


図３

	カ	キ	ク
①	P	Q	R
②	P	R	Q
③	Q	R	P
④	Q	P	R
⑤	R	P	Q
⑥	R	Q	P

第20講
民族・宗教［確認テスト］

［1］　次の図3は，図1中のX国とY国における言語による地域区分を示したものである。X国とY国の言語にかかわる特徴について説明した下の文章中の空欄タとチに当てはまる語の正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

（2010年度地理Ｂ本試験第５問問５）

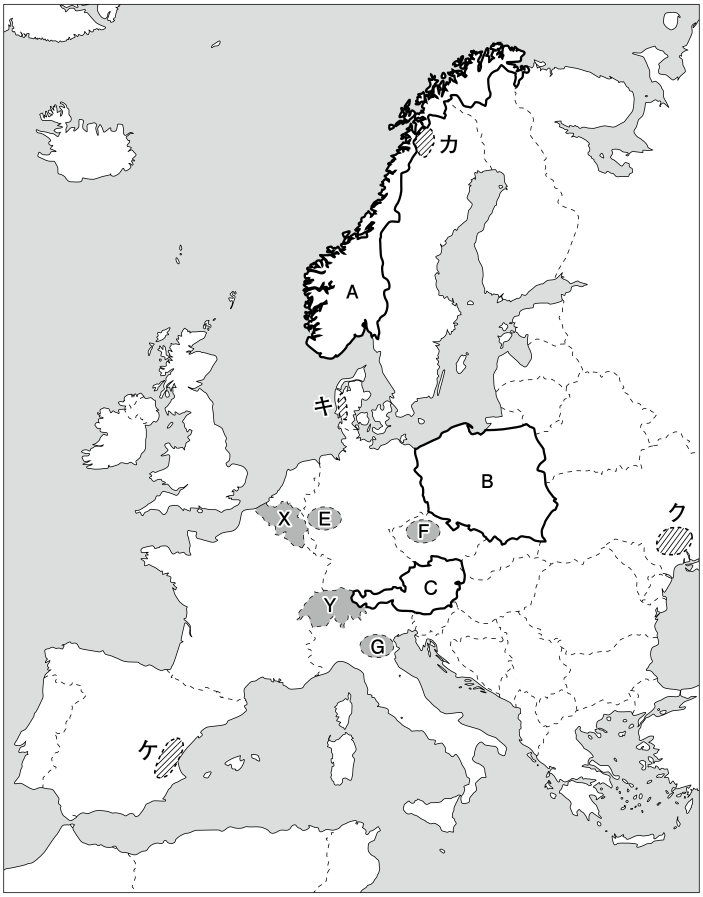
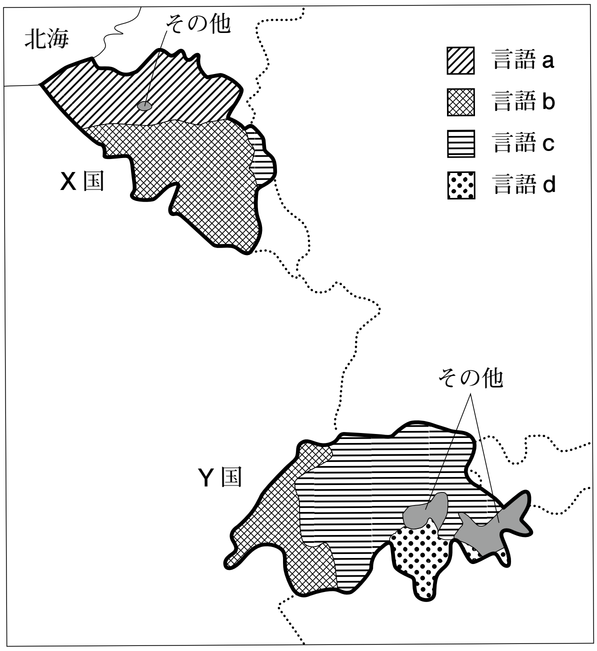


図1



点線と太線は国境を示している。
Statesman's Yearbook などにより作成。

図３

言語 a と c はともに(　タ　)語派に属し，言語 b と d はともにラテン語派に属する。X 国と Y 国とは，国内で複数の言語が用いられている点で共通している。Y 国では公用語を(　チ　)制定している。

①　タ－ゲルマン　チ－一つ
②　タ－ゲルマン　チ－複数
③　タ－スラブ　　チ－一つ
④　タ－スラブ　　チ－複数

［２］　次の図３中のカ～クは，ヨーロッパにおける宗教の分布図から，異なる三つの範囲を切り取って示したものである。範囲カ～クの位置は，下の図４中のＡ～Ｃのいずれかである。Ａ～Ｃとカ～クとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ本試験第３問問４）

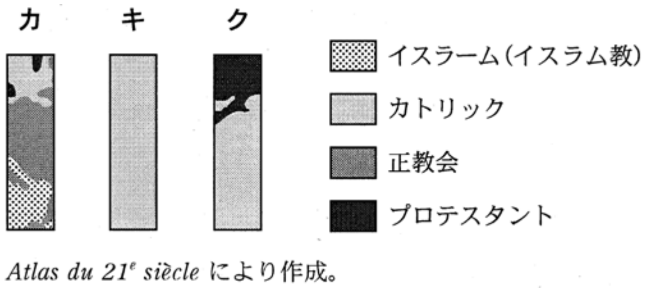


図３

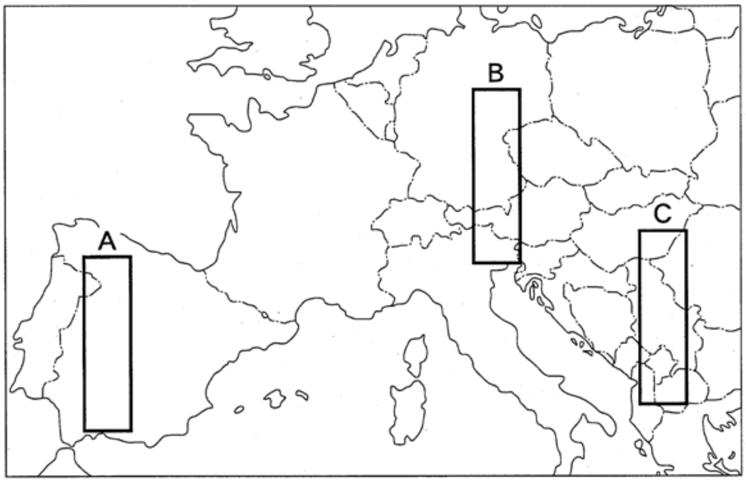


図４

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［３］　次の写真２は，下の図１中の砂漠地帯のあるオアシス都市で写したものである。この写真あるいはその付近の説明として最も適当なものを，下の文①〜④のうちから一つ選べ。

（1998年度地理Ａ追試験第２問問７）

著作権の都合により非公開

写真２

「アトラス現代のソ連邦」により作成。

図１

①　シルクロードの交易で栄えた時代の伝統を受け継ぐバザールであり，ときおりコーランの一節をよむ声が聞こえていた。

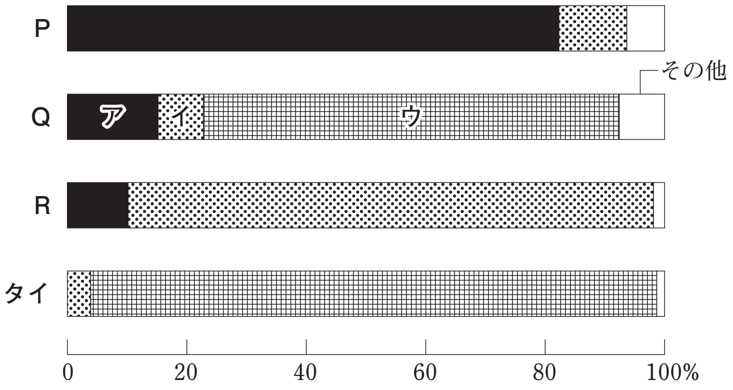
②　衣料品や食器などに加えて，香辛料やマンゴー，パイナップルなどの特産品も売られていた。

③　羊肉や鶏肉などが大量に並べられ，名物の豚の串焼きは人気が高かった。

④　付近は社交場であり，その土地に住む年老いた男性が数人ずつまとまり，酒を飲みながらおしゃべりしていた。

［4］　次の図4は，インド，スリランカ，バングラデシュのいずれかの国とタイで信仰されている宗教について，宗教別の人口割合を示したものである。図4中の**ア**～**ウ**はイスラム教，ヒンドゥー教，仏教のいずれかであり，下の写真1の**ア**～**ウ**はそれらの宗教に関する写真を示している。P～Rに該当する国名の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

（2002年度地理Ｂ本試験第３問問４）



外務省『アジア・オセアニア各国要覧』などにより作成。

図4

著作権の都合により非公開

ア

著作権の都合により非公開

イ

著作権の都合により非公開

ウ

写真1

	P	Q	R
①	インド	スリランカ	バングラデシュ
②	インド	バングラデシュ	スリランカ
③	スリランカ	インド	バングラデシュ
④	スリランカ	バングラデシュ	インド
⑤	バングラデシュ	インド	スリランカ
⑥	バングラデシュ	スリランカ	インド

［5］ 次の図１中のＡ～Ｄのいずれかの地域でみられる紛争問題について述べた文として適当でないものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ追試験第５問問１）

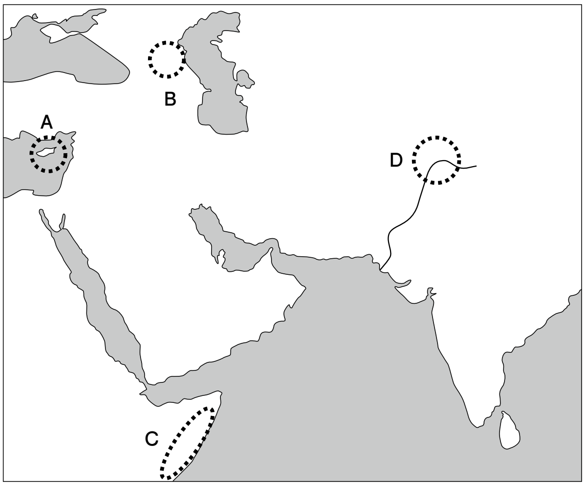


図１

① Ａ地域では，ギリシャ系住民とアラブ系住民との間で，国を二分する対立がみられる。

② Ｂ地域では，ムスリム（イスラム教徒）が多数を占める民族による，ロシア連邦からの分離独立を求める運動がある。

③ Ｃ地域では，政府の支配力が衰退し，多様な軍事勢力による戦闘が拡大し，内戦状態が続いている。

④ Ｄ地域では，国境をめぐり，ムスリムが多数を占める国とヒンドゥー教徒が多数を占める国との間で対立がみられる。

第20講　民族・宗教　解答

［１］正解　（１）①　（２）④

(1)　地中海北岸のヨーロッパと南岸の北アフリカには同じコーカソイドが分布する。前者がインド・ヨーロッパ系，後者がセム・ハム(アフロ・アジア)系であるが，いずれも人種系統はコーカソイドである。

②について。ヒマラヤ山脈を挟み，中国はモンゴロイド，インドはコーカソイド。

③について。北大西洋を挟んで，北アメリカはモンゴロイド，ヨーロッパはコーカソイド。

④について。サハラ砂漠を挟んで，北アフリカはコーカソイド，中南アフリカはネグロイド。

（２）　南北アメリカの先住民はモンゴロイドであるが，ヨーロッパによる植民地支配でコーカソイドが流入した。やがてプランテーション労働力などでアフリカから多くの奴隷が運ばれ，ネグロイドも増加した。

［２］正解；②

本来，言語と宗教は直接結びつくものではないが，イスラエルは例外。ユダヤ人国家であるイスラエルでは彼ら固有の言語であるヘブライ語が使用され，民族宗教であるユダヤ教が信仰されている。

①について。チベット(中国)ではチベット仏教(ラマ教)。

③について。ポルトガルはカトリック。ポルトガルのようなラテン民族国家ではカトリックが信仰されることが多い。

④について。マレーシアの多数派を占めるマレー系住民はイスラム教を信仰しており，国教もイスラム教である。

［３］正解；④

「湿潤地域の宗教」と「乾燥地域の宗教」に区分する。前者はヒンドゥー教と仏教，後者はユダヤ教とそれから派生したキリスト教，イスラム教。湿潤地域の宗教は農業を基盤としているので，農業生産の振るわない乾燥地域には広まりにくい。一方，乾燥地域の宗教にはそうした制約がないので，どのような自然環境にも適

応する。

選択肢中，イスラム教もキリスト教も乾燥地域の宗教である。４つの国については，インドネシア，フィリピン，ブラジルが湿潤国であるのに対し，リビアは北アフリカの乾燥地域に位置する国である。①・②・③が「発祥地とは異なる環境」でその宗教が定着した例であり，それに該当しないものが④となる。

［４］正解　ア；①　イ；③

写真について。アは仏教の建築様式。写真にある中央に塔を持つ円錐状の施設はパゴダ。日本では仏舎利の名称で知られるもので，ブッダの遺骨が祀られている。イはイスラム教の建築様式。イスラム教の礼拝所であるモスクである。ドーム型の屋根を持つ建物と，それを囲む複数の尖塔（ミナレット）が特徴。

選択肢の文章について。①は仏教。米作地域に主に広がる宗教であり，湿潤なモンスーンアジアに分布している。大乗仏教と上座仏教がある。なお，チベット高原やモンゴル地域では，それらとは異なった種類の仏教であるチベット仏教（ラマ教）が信仰されている。

②はキリスト教の東方正教。ロシアなどスラブ地域に信者が多い。

③はイスラム教。主にアラブ民族によって信仰されているが（教典のコーランはアラビア語で書かれている），商人に信者が多かったことから，周辺の交易路沿いにも広まっていった。シルクロードの中央アジア，海のシルクロードの東南アジアなど。

④はキリスト教のプロテスタント。アングロサクソン（ゲルマン）系の人々に信者が多く，彼らが入植した北アメリカでも主な宗教となっている。

⑤はキリスト教のカトリック。ラテン系に信者が多い。ラテン国家のスペインやポルトガルの植民地だった中南アメリカにも宣教師によってカトリックが広められた。

［５］正解；③

Ｘは「多民族」，「石油」からキのナイジェリアに該当。ナイジェリアはＯＰＥＣに加盟するアフリカ最大の産油国である（ただし人口規模が大きいので，１人当たりＧＮＩは低い）。また，多くの民族（部族）から構成される国であり，民族対立に起因する苛烈な内戦を経験した。

Ｙは「アラブ」からカのエジプト。西アジアから北アフリカの広い範囲にはアラブ人が分布する。エジプトもアラブ系国家の一つである。

よって正解は③。Ｚはクのケニアに該当するが，「野生動物」に注目しておこう。熱帯草原サバンナの国であるケニアはライオンやゾウなど大型の野生動物が多く生息し，観光もさかん。

［6］正解；②

「言語」の図であるが，地理において言語と民族は同じと考えてもよく，「民族」系統の図と読み替えてもいい。

言語（民族）の境界が国境線となっているところは多いが，反対に国の中央を言語境界が通過する国もある。その例としてベルギーをぜひ知っておこう。ベルギーは多民族（多言語）国家であり，北部ではゲルマン系のオランダ語が，南部ではラテン系のフランス語が，それぞれ使用されている。こうした国はスイスなど他にも多く，ヨーロッパでは複数の言語が公用語とされる事例は少なくない。ゲルマン系言語とラテン系言語の境界が現在の国境とは「完全に」一致するわけではないので，②が誤り。

①について。例えばハンガリーにはウラル系（アジア系）の言語がみられるが，これはこの国の主要民族であるマジャール人がモンゴル人の血を引くことに由来する。この土地は，東方から移動してきたモンゴル人によって支配され，言語も影響を受けた。

③について。東ヨーロッパではスラブ系の言語を用いる国が多いが，ラテン系のルーマニアなど例外も多い。

④について。「その他」にはいろいろな言語が含まれる。ギリシャのギリシャ語，トルコのトルコ語以外にも，イギリスやアイルランドのケルト系言語，フランス・スペイン国境のバスク語など。

［7］正解　Ｂ；②　Ｆ；⑥

地理では言語と民族は同義なので，ここでは言語について「民族」と置き換えて説明する。

ヨーロッパ北西部に分布するのはゲルマン系民族。イギリスやドイツの主要民族がこれに該当する。彼らの多くはプロテスタントでもある。

ヨーロッパ南西部に分布するのはラテン系民族。イタリア，フランス，スペイン，ポルトガルなど。彼らはカトリックである。

ヨーロッパ東部に分布するのはスラブ系民族。ロシアなどが該当。その多くは東方正教を信仰する。

ただし，全てがこれに当てはまるわけではなく，例外も多い。最低限，以下のことを知っておこう。

１）ドイツ・・・ドイツはゲルマン系民族の国であり北部はプロテスタントが多いが，南部を中心にカトリックが広まっている。全体としての割合は半分ぐらいずつ。

２）ポーランド・・・スラブ系民族の国であるが，熱心なカトリック国として知られている。ポーランドに隣接するチェコもスラブ系カトリックの国。

以上のことを念頭に入れて，問題を解いていこう。

まずＢのドイツから。「ゲルマン」であり，「プロテスタント」と「カトリック」がそれぞれ多い。②が該当。

さらにＦのスペイン。「ラテン」であり，⑥が該当。「カトリック」でもある。

他も重要な国ばかりなので，チェックしておこう。

Ａのデンマークは③に該当。ゲルマン系でプロテスタントの国である。ノルウェーやスウェーデンなど北ヨーロッパにはゲルマン・プロテスタントが多い。

Ｃのポーランドはスラブ・カトリックで④。

Ｄのハンガリーはアジア系の国であり，ここではウラル系と表現されている。①が該当。

Ｅはボスニア・ヘルツェゴビナ。かつてユーゴスラビアを構成していた国の一つ。ユーゴスラビアはスラブ系住民がほとんどを占めるが，宗教は多様。西部のクロアチアなどではカトリックが信仰され，東部のセルビアなどでは東方正教が多い。中央部のボスニア・ヘルツェゴビナはカトリックと東方正教に加え，イスラム教徒が多い。複雑な宗教構成をみせている。⑤が該当。

［８］正解；①

数万年前の最終氷期には現在より100ｍほど海水面が低下しており，現在大陸棚となっている浅海底の広い部分は陸化していた。ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の間のベーリング海峡も海面上となり，両大陸は陸続きであった。ユーラシア大陸内陸部をルーツとするモンゴロイドが北アメリカ大陸へと渡って行った様子を想像しよう。

②について，南北アメリカ大陸の先住民は，北極海沿岸がイヌイット（エスキモー），カナダやアメリカ合衆国がアメリカインディアン，メキシコ以南がインディオ。「南アメリカ大陸南端」はインディオ。

③について。図の左端にオーストラリア北部が少しだけ顔を出しているのがわ

かるだろうか。モンゴロイドの移動を示した矢印がこの大陸には達していない。アボリジニーはオーストラリア大陸の先住民であるが，モンゴロイドではない。

④について。日本に稲作が伝わったのは弥生時代といわれている。およそ2000年前であり，１万7000年前では古すぎる。

［９］正解；④

北アメリカにやってきた白人の入植者たちは大西洋岸の東部地域にとどまらず。中西部から太平洋岸にかけての広大な土地を支配下においた。その過程で，先住民たちは彼らが本来住んでいた豊かな森林地帯を追われ，主に西部の乾燥地域に設けられた保留地へと生活の場を移さざるを得なくなった。

正解は④。「農牧業に適した土地」とは五大湖南岸から中央平原にかけての土地で，森林がなぎ倒され，トウモロコシ畑や小麦畑が開墾された。「鉱産資源に富む場所」の代表はカリフォルニア州。金鉱が得られることから，一攫千金を夢みる白人たちが太平洋側の地域へと押し寄せた（ゴールドラッシュ）。

①・②について。主に乾燥地域であり，「農業地帯」ではないし，「大都市」もほとんどみられない。

③について。アメリカインディアンは本来は森林地域に居住していた「森の民族」。緑豊かな地域を白人に占領され，乾燥地域の保留地に封じ込められたのだ。

［10］正解；③

まずアメリカインディアンの分布地域。練習問題［９］が参考になる。そもそもが東部の湿潤地帯に住んでいた彼らであるが，白人の侵略によって次第に西へと追いやられ，現在は西部の乾燥地域に設けられた保留地に住む者も多い。①がアメリカインディアン。

さらに黒人。西アフリカから黒人奴隷が綿花栽培の労働力として多く連れて来られた。綿花プランテーションが多く開かれている南東部（「南部」と呼ばれている）においてかつての奴隷の子孫たちが多く，黒人の割合が高い。②が黒人。

そして③と④の判定をしよう。ヒスパニックが重要。ヒスパニックとはスペイン語話者の意味で，主にメキシコやカリブ海地域からの移民の総称。英語に習熟しない者も多く，ヒスパニックの増加は社会問題ともなっている。彼らの中には自らの足で国境線を越えてくる者もあり，アメリカ合衆国のメキシコ国境沿いにおいてとくにヒスパニックの割合が高い地域がみられる。③と④のうち，メキシコ国境沿いで全て「高」となっている④がヒスパニックであり，カリブ海からの移

民が集まるフロリダ州でも値が高いことに注目しておこう。

以上より，残った③が中国系である。相対的に太平洋岸や大都市で多く，農業地域で少ない。

[11]正解；④

フランスとスペインの国境地帯には民族系統が周囲と全く異なるバスク人が居住。独自の言語を用いている。なお，宗教はカトリックで周辺国との違いはなく，バスク人は体躯がいいことから，かつて新大陸に送られた宣教師にはバスク人が多かったと言われている。なお，選択肢④にもあるように独立や自治権拡大を求める動きもあり，一部にはテロのような過激な行動に走る一団も存在するようだ。

①について。「プロテスタント」と「カトリック」を入れ替える。カトリックが多いのはアイルランドであり，イギリスはプロテスタント。なお，ここでは「少数派」とあるが，現在の北アイルランド地方においてはプロテスタントとカトリックの人口に大きな違いはない。

②について。インドネシアではなくマレーシア。イギリスの植民地であったシンガポールは，マレーシアの一部として独立し，そしてさらに分離して現在の形となる。分離独立したからといって対立関係にあるわけではなく，むしろ経済的なつながりは極めて強い。お互いが重要な貿易相手となっており，またマレーシアに居住しシンガポールの企業に通勤する人もいるなど，都市圏は国境線を越えている。

③について。かつてパキスタンとバングラデシュが連邦国家を形成していたのは事実だが(バングラデシュは東パキスタンと呼ばれていた)，それは両者がともにイスラム教国であったから。場所が離れていること，民族(言語)が異なることから，バングラデシュが分離独立した。バングラデシュもイスラム教である。

[12]正解；④

スリランカの多数派民族であるシンハラ(シンハリ)人は仏教徒である。

他の選択肢では①が非常に重要。トルコやイラン，イラクにまたがる山岳部には少数民族のクルド人が居住し，それぞれの国から迫害を受けている。クルド人は，歴史上，自分の民族が中心となる国家をつくったことがない。

②についてはルワンダの位置(アフリカ中央部。コンゴ民主に隣接)を確認しておこう。1990年代にツチ族とフツ族による内戦があった。③については，旧ユーゴスラビアにイスラム地域があることを知っておこう。ボスニア・ヘルツェゴビ

ナなど。

[13] 正解；③

カの「ユダヤ」に注目しよう。ユダヤ人国家であるイスラエルが含まれるＬの地域に該当。

さらにクの「干ばつ」に注目。Ｍはソマリアという国だが，この隣国であるエチオピアについては，しばしば干ばつなどによる食糧不足が生じ，多くの餓死者や病死者が生じているなどのニュースを見聞きしたことがあるだろう。そうでなくても，アフリカ大陸の半乾燥地域などでは砂漠化が進み，それにともなう干ばつで多くの人々が環境難民とならざるをえないということはよく知られているはずだ。Ｍをクと判定する。

残ったキがＫの旧ユーゴスラビアになる。「国の体制が崩壊し」とはユーゴスラビアが崩壊し，６つの国に分裂したことを表す。「複数の民族・国家間紛争が生じて」とは例えばボスニア・ヘルツェゴビナのキリスト教徒とイスラム教徒の対立による内戦が例。

[14] 正解；②

Ｐはカ。アングロサクソン系プロテスタントがアイルランド系カトリックの権利を制限してきた場所が，イギリスの北アイルランド地方である。

Ｑはク。スペインとフランスにまたがるバスク地方である。独自の言語を用いるバスク人は，独立国家の建設を目指している。

以上より正解は②。Ｒのキプロスがキに該当する。ギリシャ系住民が多数を占める国であるが，北部には対岸から移り住んだトルコ系住民が多く居住し，実質的な分裂国家となっている。ギリシャ系住民がキリスト教徒，トルコ系住民がイスラム教徒。

第20講　民族・宗教　解答

［1］正解；②

Xはベルギー，Yはスイス。ともにヨーロッパを代表する多民族(多言語)国家。

Xのベルギーでは，北半分の地域に住むフラマン人はゲルマン系の民族でオランダ語を使用し，南半分の地域に住むワロン人はラテン系の民族でフランス語を使用している(一部にドイツ語使用地域も)。「北半分がゲルマン系の言語，南半分がラテン系の言語」である。このことから，ベルギー北部で使用されているａはオランダ語となり「ゲルマン」語派である。タが決定する。

Yのスイスは図からわかるように，４種類の言語が用いられている。公用語は４つあると考えられ，チには「複数」が当てはまる。スイスにおいて最も使用人口が大きいのがドイツ語であり，ｃがドイツ語となる。フランスに近い西部ではフランス語，イタリアに接する南東部ではイタリア語がそれぞれ用いられており，ｂがフランス語，ｄがイタリア語。その他の言語はレートロマン(ロマンシュ)語である。ドイツ語がゲルマン系，他はラテン系。連邦国家であるスイスでは州ごとの独自性が強い。

［2］正解；④

とにかく民族と宗教の関係で最初に覚えておくのは「ラテン民族はカトリックである」というセオリー。カトリックはラテン民族以外にも信者は多いが，ラテン民族のほとんど全てがその信者であることは間違いない。ラテン民族を確実に知っておけば，カトリックも判別できる。ポルトガル，スペイン，フランス，イタリアの南西ヨーロッパがラテン民族の主な分布地域であり，もちろんカトリックである。キがAに該当。

さらにCに注目しよう。旧ユーゴスラビア東部の地域である。枠内の中央にセルビアが位置し，南の菱形の国がコソボ。コソボは旧ユーゴスラビアに含まれるが，民族系統はアルバニア系で宗教はイスラム教(なお，練習問題［7］で扱っているが，ボスニア・ヘルツェゴビナはスラブ系民族でイスラム教徒が多い)。イスラム教徒の存在が極めて重要で，カがCとなる。

残ったクはBに該当。ドイツ北部はプロテスタント，ドイツ南部からオーストリア，イタリアはカトリックが主。

［３］正解；①

旧ソ連南部の乾燥地域にはカザフスタンやウズベキスタンなどの国々があり，これらをまとめて中央アジアという。問題文にある「砂漠地帯のオアシス都市」というのも，中央アジアに位置するものと考えていいだろう。

「中央アジア＝イスラム教」と考えるのが大原則。ここには古代にシルクロードが通じ，東西を往復するアラブ商人によってイスラム教が伝えられた。中央アジア以外にも，東南アジア島嶼部やアフリカ・サヘル地帯などイスラム地域があるが，これらもアラブ商人たちが移動した交易ルートに沿っている。東南アジア島嶼部は香辛料，サヘル地帯は岩塩が主な商品。

誤っている部分を指摘していこう。

②について。パイナップルは熱帯・亜熱帯の湿潤地域の作物。タイやブラジルで生産がさかんで，日本でも沖縄で栽培される。中央アジアは乾燥地域でパイナップルの栽培に適さない。

③について。イスラム教では，不浄であるという理由で，ブタは食されることはない。

④について。イスラム教では飲酒は禁じられている。

よって①が正文。「コーラン」とはイスラム教の経典である。

［４］正解；①

まずは写真の判定。アはヒンドゥー教。聖なる川であるガンジス川への沐浴。ヒンドゥー教徒の生活はガンジスとともにある。

イはイスラム教。モスクの中の光景である。メッカの方向に向かって祈りを捧げている。

ウは仏教。体全体をゆるやかに覆うような衣服に身を包むのは仏教の僧侶。髪の毛を剃っているのも手がかりになるだろう。手に食器のようなものを持っているが，托鉢をしているところなのだろうか。

では，帯グラフの判定をしよう。南アジアは国ごとに宗教分布が明確な地域。インドは，少なからずイスラム教徒も存在するものの，ヒンドゥー教徒が圧倒的多数を占める国。バングラデシュは，パキスタンと同様にイスラム教国。スリランカは，北部のタミル人はヒンドゥー教徒だが（インドから移り住んできた），国民の過半を占めるシンハリ人は仏教徒である。これより，Ｐがインド，Ｑがスリランカ，Ｒがバングラデシュである。

［5］正解；①

Aのキプロスでは，南部のギリシャ系住民と北部のトルコ系住民との間で対立がみられる。「アラブ」を「トルコ」に改めよう。

②について。ロシア最南部のカフカス地域に位置するチェチェン共和国はイスラム教徒が多い。ロシアからの分離独立を求める動きがあり，武力衝突にも発展している。

③について。「アフリカの角」ソマリアである。無政府状態に陥り，国内の複数の勢力が対立し内戦に発展した。なお，内戦の原因として民族や宗教の違いが挙げられることがあるが，それが全てではないことを認識しておこう。ソマリアの人口のほとんどはソマリ人であり，宗教もイスラム教が多数。民族や宗教の違いに起因した内戦ではないのだ。

④について。Dのインダス川上流域はカシミール地方。「ムスリムが多数を占める」パキスタンと「ヒンドゥー教徒が多数を占める」インドとの係争地。この地域の帰属を巡り紛争が生じた。